



Congratulations

先日フットマーク社内にて、所属選手である金藤理絵選手リオデジャネイロオリンピック金メダル祝勝会を開催しました。社員約50人で金藤選手と加藤コーチを盛大にお迎えしました！この日のために金メダル記念Tシャツを作成。カラーはもちろん、選考会からの流れを引きつぎ「オレンジ」です。笑いあり、涙ありの思い出に残る1日になりました。

りえっ娘倶楽部 団長の司会でスタート

この日の司会は、実はお酒を1杯飲んで祝勝会に臨んだりえっ娘倶楽部団長。社員約50人とメディアの方にお集まりいただき、会場はギューギュー状態。待ちに待った祝勝会がスタートしました。



世界にひとつだけのケーキ



前半の山場はココでした。この日のために近所のケーキ屋さんで特製ケーキを発注！Tシャツと同じイラストを模した世界にひとつだけのケーキです。金藤選手と加藤コーチのファーストバイトをリクエストしましたが、実現ならず…。残念。



RIE KANETO
×
FOOTMARK



涙、涙のクライマックス



最後にサプライズで社員1人ひとりが1輪のバラを金藤選手と加藤コーチに手渡し、最後は大きな花束になりました。誰もがみんな、笑顔、笑顔！本当に本当に素晴らしい嬉しい、ひと時でした。改めて、金藤選手・加藤コーチおめでとうござります！



■金藤理絵(かねとう・りえ)08年北京五輪女子200m平泳ぎ7位。12年ロンドン五輪は代表入りを逃した。世界選手権の200m平泳ぎで09年5位、11年5位、13年4位、15年6位。2月の3カ国対抗女子200m平泳ぎで2分20秒04と約7年ぶりに自らの日本記録を更新。4月の日本選手権でさらに塗り替えた(2分19秒65)。リオ五輪では同種目24年ぶりの金メダルに輝いた。広島・三次高、東海大、東海大学院出、Jaked。175㎝、64㎏、27歳。



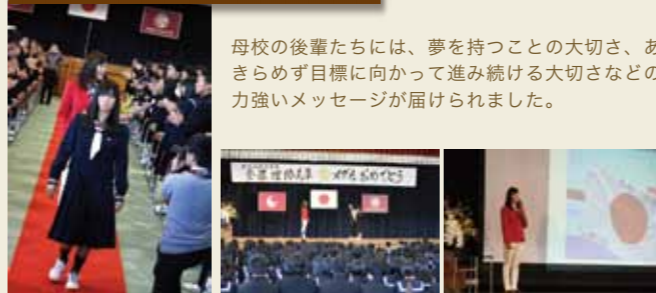
庄原市報告会・祝賀会



NEWS 金藤選手・地元凱旋

県庁訪問、母校で約650人を前に講演、また故郷庄原市にて、パレードや報告会、祝賀会に参加しました。パレードでは、自作のうちなどをつくり金藤選手にお祝いの言葉を伝える市民のみなさんの様子が印象的で、本当に待ちに待った金藤選手の凱旋でした。

母校・三次高校での講演



母校の後輩たちには、夢を持つことの大切さ、あきらめず目標に向かって進み続ける大切さなどの力強いメッセージが届けられました。

故郷・広島庄原市パレード



人口3万人ほどの庄原市のパレードには約8,000人の市民の方が参加。市役所の方も普段これほど人が集まっているのを見たことがないと驚きの様子でした。遠征中だったため、残念ながら銀座のパレードには参加できませんでしたが、「今回こうして地元の皆さんが企画していただいた素晴らしいパレードに参加できてよかった」と笑顔。



10年間を振り返り、「一步」がなかなか踏み出せない自分がいた。チャンスがあったにも関わらず、つかむことができていなかった。でも今思えば、気づかないうちに少しずつではあるけれど一歩一歩進んでいた。それはたくさんの人の支えがあったからこそ。その方たちの期待に応えたいと思う気持ちが芽生えたことが、今ここに金メダリストとして私が立っている1番の要因だと思う。(庄原市報告会の金藤選手のスピーチより)

NEWS プレアビヒアの子どもたちへの体操帽子



2年前より、カンボジアの子どもたちへ体操帽子や水泳バッグなどの支援を行っています。これは「NPO法人 アジアの誇り プレアビヒア日本協会(通称PVAJ)」を通じて支援を行う学生ボランティアの皆さんの活動に賛同し実現しています。毎回写生大会やクリーン活動などを様々な工夫をこらし。今回は8月に現地へ行かれた学生の皆さんからコメントをいただきました！フットマークは今後も、PVAJさんにご協力しカンボジアへの支援を継続していきます。

<http://preahvihear.jimdo.com/>

現地の子どもたちに、鉛筆をたった一本配った時に、手を合わせて「ありがとう」と言われました。今、自分がいる世界がいかに狭く、しかし、いかに恵まれているのかを実感し続け考えさせられる二週間でした。
東洋大学1年 若林ミナト

私は今回2回目の参加になります。が、住民生活調査では現地の生活は貧しく、裕福な家庭はひとつもなく、物資を届けると、子供たち同様に笑顔でお礼を言い頭を下げて感謝されました。その時が私の活動が報われた瞬間でした。現地の人々の笑顔は私たちの活動の大きな活力となります。東洋大学3年 佐藤伊織

カンボジアの子供たちは日本の子供たちよりも明るく積極的で、話している言語はお互い全く違うというのに、上手くコミュニケーションをとることが出来、凄くキラキラして見えました。クリーン活動を終え本来の目的の「ごみを捨ててはいけない習慣を伝える」というのは結果がすぐに目に見えるものではないけど、子供たちが笑顔で楽しそうにやっていたのを見た時、目的よりも大事なことに気付くことができました。日本大学1年 須藤野乃子

国際福祉機器展 (H.C.R) に行ってきました

2016年10月12日～14日まで開催

HCRとは？

●日本最大級の国際福祉機器展

国際福祉機器展 H.C.R. は、ハンドメイドの自動具から最先端技術を活用した福祉車両、介護ロボットまで世界の福祉機器を一堂に集めた国際展示会です。フットマークは30年以上連続で出展をしています。



●コンセプトは「介護しやすく」

フットマークでは新商品の入浴介護Tシャツ・ハーフパンツなどの「濡れない・蒸れない・脱ぎやすい」を特徴とした商品を初出展し、主に介護する方に向けた商品を展示しました。

●今年も内定者がお手伝い



来年の春に入社する2名には研修の一環として参加してもらいました。商品説明をし、覚えることが第一関門でしたが徐々にお客様に対して、積極的にお声がけなどできるまでになりました。



入浴介護ウェアシリーズ



ヘルスケア部・大内 博

介護用品と言う、少し古いメーカーイメージを一新し、次の一手を誰が打つかそれは自分だという信念で、営業をしております。以前、志半ばで、ウェルネスの営業から、物流への配属を経てここが正念場でもあるので、勘を取戻しながら、前進していきます。



Phitenハーフパンツ (上)
しゃがめ～パンツ (下)

From大内

「お食事エプロン」の豊富さは負けません！



介護用品のメーカーとして、先駆けた商品であるのでバリエーションが特に強みです。在宅向けから施設向けまで様々な場面でお使いいただけるエプロンがきっとみつかります。介護される方の笑顔に貢献できる商品であると思います。

From大内

「ファイテンウェア」で日々のお仕事をサポートします！



介護の現場を元気にすることができる商品だと自信を持ってオススメしています。リラックス効果と、吸汗速乾素材、見た目も鮮やかな商品で他の追随を許さない介護スタッフの方向けのウェアです。

重労働の現場（介護現場）を緩和する為、ロボット化が進むという話題が昨年頃から、ちらほらありましたが、実際に今年の展示会は、それを実感する内容の展示が多かったと思います。

自動化、ロボット、システム等、従来の人の手を介さない内容が目を引きました。車も自動で走り、仕事もロボットがする時代が、目前に迫っています。世の中の変化がすごいスピードで進んでいると実感しました。

ヘルスケア部
大内

HCRで 気になった コト・モノ



私が一番目を引かれたのは、赤いスポーツカータイプの手動運転車でした。これからの社会では、それぞれが自立して明るく力強く生きていこうというメッセージとメーカーのチャレンジ精神を感じさせてくれました。

物流サービス部
竹内

コミュニケーションロボット「PALRO（パルロ）」です。パルロは感情表現が豊かで介護施設では第三のスタッフとして活躍しています。その他にも明るく取り組む介護予防運動など、前向きな商品が特に印象に残りました。

広報室 吉河

FOOTMARKな人々 21人目***

日々努力、日々行動
佐藤佳澄美



部門	ウェルネス部	出身地	東京都墨田区
入社	半年	休日は？	トライアスロンの練習をしています
特技	トライアスロン (趣味です)	私の健康法	思い切り汗をかくこと

私のおすすめ商品 No.101121/ダッシュ



小さな帽子一つ丁寧にいろんな工程を経て自分の手元に来るのを工場研修で見て感動しました！！

つらい練習をするのに一番気分転換ができるのはキャップの色を変えることです！こんなに沢山の色があると毎日の練習も楽しいはず！

4月に中国の工場で縫製体験



初めての
水泳帽子
づくり



小さなお店の中に広がる韓国ワールド そして懐かしく流れる有線からの音楽

「ソウル市場森下店」

東京都墨田区立川 1-10-3 TEL: 03-3846-7783
<https://tabelog.com/tokyo/A1312/A131201/13053376/>

韓国 喫煙 約6分

清澄通り沿いにある韓国料理屋さん。ボリュームたっぷりのランチがいただけます。日本人好みの味付けなのか正直、どれを食べてもおいしいです。特に男性はカルビ定食を注文されている方が多い印象。またテイクアウトにも対応しており、お昼時はお弁当を待つ近隣のからの 手作りのキムチやナムルも良心的な価格で販売しています。ただし辛いので、お腹と相談することをおすすめします。



ブルコギビビンバ (白米半分)



編集後記

金藤選手の金メダルの余韻がまだ残っています。先日フットマークでも祝勝会を開催しましたが、その後すぐに海外遠征に旅立った金藤選手。短水路で日本新記録を連発という結果も出しています。五輪後もなお挑戦し続ける姿は本当にただただ尊敬するばかりです。

さてもう10月も終わりですが、安定しない気候が続いていますが、秋まっさかり。秋は「芸術の～」「スポーツの～」「食欲の～」などと色々と言われがありますが、みなさんはいかがですか？来月は芸術の秋について特集したいと思います。

フットマーク株式会社

広報担当：吉河祐子
Tel: 03-3846-3382
footmark_press@footmark.co.jp

※ぜひ感想をお寄せください